

福山大学大学院 人間科学研究科

学力試験問題等
(2027 年度)

2027 年度福山大学大学院人間科学研究科心理臨床学専攻（修士課程）入試問題（第一次）
出題意図

1. 筆記試験（外国語）

外国語試験では英語を対象として、最近の心理学に関する論文等から出題しています。単なる英語能力ではなく、心理学に関する論文から出題することで、修士課程の研究及び修士論文作成に必要となる、著名な研究及び最先端研究の英語文献に当たり、それらの研究を理解することで自身の研究を進めるために必要な英語力を有しているかを判断しています。最新の研究成果は英語で発表されることが多く、英語文献の読解能力や、将来的に英語での論文執筆、国際学会での発表等を行うための基礎的な英語運用能力を測る試験となります。

著作権の関係から英語問題は非公開としています。なお、受験希望者の要望があれば開示できるようにしています。

2. 筆記試験（専門科目）

問1は論述問題であり、3つの問題の中から2つを選び解答してもらっています。論述問題では、単なる知識の暗記ではなく、「課題理解力」「思考力・分析力」「論理的な表現力」「独創性」といった能力を多角的に評価しています。このことで修士課程での研究活動及び修士論文作成に必要とされる能力を有しているかを判断しています。

問2は用語説明であり、7つの問題から5つを選び解答してもらっています。用語説明では、心理学の学士課程で修得する用語を5つ選択して説明してもらい、修士課程でのカリキュラムで提供する高度で幅広い心理臨床分野の知識とスキルの修得が可能であるかを判断しています。

なお、問1の論述問題及び問2の用語説明は、下記の心理学の10分野から幅広く出題しています。

教育心理学	健康心理学
社会心理学	生理心理学
認知心理学	発達心理学
臨床心理学	犯罪心理学
心理学研究法	心理統計法

3. 小論文（社会人特別選抜）

社会人特別選抜は筆記試験（外国語・専門科目）が免除のため、小論文において人間科学研究科のアドミッション・ポリシーに適合しているかを判断しています。具体的には、心理学の研究方法を用いて自ら研究を推進できる人で、心理臨床現場や地域社会における対人援助の素養を有する人を選抜しています。そのため、心理学に関する内容の小論文3問から2問を選択して解答を求め、論理展開、独創性、文章表現の観点から採点を行っています。

なお、小論文の解答はそれぞれの社会での実務経験により多様性があり、一義的には示すことができないため、模範解答は非公開としています。

第一次入学試験問題 専門科目

問 1 以下の 3 つの問題 (①～③) の中から 2 つを選び、解答してください。解答の際には、解答用紙の「番号」と書かれた欄に、選んだ問題の番号を記載してください。

① 血液型 (A 型, B 型, O 型, AB 型) の 4 群を対象として, ストレス反応尺度による調査を実施しました。血液型によってストレス反応得点の平均値に差があるかを検討するために, 適切な統計的方法について, 以下の問いに答えてください。

1. この研究における要因はいくつありますか。また, 要因はそれぞれ何を表しているか説明してください。
2. 血液型という要因は, 被験者間要因と被験者内要因のどちらに該当しますか。また, その理由を説明してください。
3. 血液型によるストレス反応得点の平均値の差を検討するために, どのような統計分析が最も適切ですか。また, その理由を説明してください。

② 裁判員制度とはどのような制度なのかについて, 裁判員の選任基準や裁判員として求められる判断がどのようなものなのかも含めて説明してください。

③ トランスセオレティカルモデル (多理論統合モデル) について説明してください。また, 禁煙行動を例とした各ステージの特徴についても説明してください。

問 2 以下の用語 (①～⑦) の中から 5 つを選び, それらが意味するところについて解答してください。解答の際には, 解答用紙の「番号」と書かれた欄に, 選んだ用語の番号を記載してください。

- | | |
|-------------------|------------------|
| ① ダブルバーレル質問 | ② 自閉スペクトラム症 |
| ③ 自己決定理論 | ④ 二次的就業性 |
| ⑤ 自己価値の随伴性 | ⑥ 神経科学におけるホムンクルス |
| ⑦ ヤング＝ヘルムホルムの三原色説 | |

2027 年度福山大学大学院人間科学研究科心理臨床学専攻（修士課程）入試問題（第一次）
解答例

1. 筆記試験（外国語）

著作権の関係から英語問題は非公開としています。なお、受験希望者の要望があれば開示できるようにしています。

2. 筆記試験（専門科目）

問 1

①

血液型（A 型、B 型、O 型、AB 型）の 4 群を対象として、ストレス反応尺度による調査を実施しました。血液型によってストレス反応得点の平均値に差があるかを検討するために、適切な統計的方法について、以下の問いに答えてください。

1. この研究における要因はいくつありますか。また、要因はそれぞれ何を表しているか説明してください。
2. 血液型という要因は、被験者間要因と被験者内要因のどちらに該当しますか。また、その理由を説明してください。
3. 血液型によるストレス反応得点の平均値の差を検討するために、どのような統計分析が最も適切ですか。また、その理由を説明してください。

【解答例】

1. 1 要因である。要因は「血液型」であり、A 型・B 型・O 型・AB 型の 4 水準から構成されている。
2. 被験者間要因である。A 型・B 型・O 型・AB 型の各群に属する対象者はそれぞれ異なり、同一の対象者がすべての性格特性の条件に属するわけではないためである。
3. 被験者間 1 要因の一元配置分散分析が最も適切である。これは、独立した 4 つの血液型群について、ストレス反応得点の平均値に差があるかを検討するためである。分散分析で有意差が認められた場合には、必要に応じて多重比較を行い、どの水準間に差があるかを検討する。

②

裁判員制度とはどのような制度なのかについて 裁判員の選任基準や裁判員として求められる判断がどのようなものなのかも含めて説明してください。

【解答例】

裁判員制度は、選挙権を持つ一般市民の中から無作為に選ばれた一般市民が刑事裁判に参加する制度である。

裁判員が参加する裁判は殺人等の重大犯罪の疑いで起訴された事件のみが対象であるが、裁判員は選任された事件に関する公判に参加し、裁判官と対等な立場で評議、評決を行う。判決の宣告でその役割を終えるまで、裁判所の非常勤職員としてその任務を全うする必要がある。日本の裁判員は、被告人の有罪無罪の判断の他、有罪の場合はその量刑も判断する。裁判員は選挙権を持つ者からくじで選出されるため、現在 18 歳以上の者なら誰でもなり得る。ただし、職業によっては裁判員になれない職種もある他、様々な事由で裁判員を辞退することも可能である。

③

トランスセオレティカルモデル（多理論統合モデル）について説明してください。また、禁煙行動を例とした各ステージの特徴についても説明してください。

【解答例】

トランスセオレティカルモデルは、プロチャスカらによって提唱された行動変容の過程を説明するモデルである。行動変容に対する動機づけの程度や準備状態を反映した「行動変容ステージ」、行動変容を実践することで得られる恩恵と負担間のバランスである「意思決定のバランス」、行動の結果に対する期待と行動の継続に対する自信である「自己効力感」、効果的な健康行動を継続するために必要な感情・認知的プロセスと行動的プロセスを合わせた「変容のプロセス」の 4 つの仮説で構成されている。

行動変容ステージは、①前熟考ステージ、②熟考ステージ、③準備ステージ、④実行ステージ、⑤維持ステージに分けられる。①前熟考ステージは 6 ヶ月以内に禁煙する意思がない状態であり、②前熟考ステージでは禁煙を行っていないが、6 ヶ月以内に禁煙を起こす意思がある状態にある。③準備ステージは具体的な禁煙に関連する行動を行っていないものの、1 ヶ月以内に禁煙しようと考えている。④実行ステージは禁煙を実際に開始して 6 ヶ月以内であり、禁煙が 6 ヶ月以上続いている状態は⑤維持ステージに該当する。

問 2

① ダブルバーレル質問

【解答例】

ダブルバーレル質問とは、1 つの質問の中に、2 つもしくはそれ以上のことを同時に聞いている質問である。ダブルバーレル質問では、回答がしにくくなったり、正しい結果が得られなくなったりする。例えば、「あなたは犬やネコを飼っていますか」といった質問をした場合、犬だけを飼っている人や、ネコだけを飼っている人は回答しづらくなってしまう。このような問題を避けるためには、その質問をする目的や、回答をどのように分析に用いるのかについて検討する必要がある。

② 自閉スペクトラム症

【解答例】

自閉スペクトラム症は、以下の3つの特徴を持つとされることが多い。

- ①対人的相互反応の障害：仲間を作ること、人と興味を共有することにおける障害
- ②コミュニケーションの障害：話し言葉の遅れ、常同的言語使用、ごっこ遊びがない
- ③限局された興味と活動：興味対象が限局されている、儀式へのこだわり、常同的で奇妙な身体運動

なお、自閉スペクトラム症は、発達障害の1つで発病率は1000人に1人、男性が女性の2倍の有病率であり、約80%に知的障害が併発するが、言語・記憶に発達の遅れを伴わない場合もある。

③ 自己決定理論

【解答例】

自己決定理論 (Self-Determination Theory) とは、エドワード・L・デシとリチャード・M・ライアンによって提唱された動機づけに関する理論である。この理論では、人間には生得的に成長や発達に向かう傾向があり、そのためには「自律性 (autonomy)」「有能感 (competence)」「関係性 (relatedness)」という3つの基本的心理欲求が満たされることが重要であると考えられる。自律性とは、自らの意思に基づいて行動しているという感覚、有能感とは自分が効果的に環境へ働きかけられるという感覚、関係性とは他者とのつながりや受容されているという感覚を指す。また、動機づけを内発的動機づけと外発的動機づけに区別し、外的な規制による行動が自己の価値として取り込まれる「内在化」の過程を重視している。教育場面では、児童生徒が自ら選択・決定する機会を保障し、成功体験を積み重ねて有能感を育み、教師や仲間との良好な人間関係を形成することが重要である。このような学習環境は、学習意欲や学業成績だけでなく、ウェルビーイングや自己成長の促進にも寄与すると考えられている。

④ 二次的就巢性

【解答例】

二次的就巢性とは、ヒトの生まれた時の状態を指す言葉である。ポルトマンは、ほ乳類を出生直後の状態によって分類している。例えば、ネコやネズミなどは、比較的単純な組織体制を持ち、生まれた時の状態は未熟で、一度に多くの子が生まれる。このような動物は就巢性と呼ばれる。一方、馬や牛のように複雑な組織体制を持ち、生まれたときから自立しているような動物は離巢性と呼ばれる。ヒトは複雑な組織体制を持っているので本来なら離巢性に分類されるところであるが、生理的早産であるため、生まれた時の状態は就巢性の動物に近い。そのため、ヒトは離巢性と就巢性の特性を併せ持つことから、二次的就巢性に分類される。

⑤ 自己価値の随伴性

【解答例】

個人がある特定の領域の在り方を重視し、それが全体的な自己価値に繋がることを自己価値の随伴性と呼ぶ。例えば、特定の教科のテストで良い点をとったことで全体的な自己価値に繋がるといったことが考えられる。随伴性にはその元となる領域と強度に個人差が想定されており、一般的に、随伴性が高いことは望ましくないと考えられる。

⑥ 神経科学におけるホムンクルス

【解答例】

カナダの脳神経外科医ペンフィールドは、大脳皮質への電気刺激で運動や感覚の生じる部位を明確にし、脳の機能地図を作成した。そして、大脳皮質が担当する体の部位の広さを、模式的に人の姿で表したのがホムンクルスである。ホムンクルスはラテン語で「小さな人間」の意味である。

大きな特徴としては、身体部位の大きさと対応する大脳皮質の大きさは一致せず、粗大な運動をする足や胴は大脳皮質ではその対応部位は小さく、手や顔、舌などの精密で複雑な運動に対応する部位は大脳皮質で広い部位を示すことである。大脳皮質の中心溝前方の中心前回を刺激すると反対側の身体部位に運動が生じる。この部位は運動野と呼ばれる。一方、中心後回を刺激すると反対側の身体部位に感覚が生じ、この部位は感覚野と呼ばれる。

⑦ ヤング＝ヘルムホルツの三原色説

【解答例】

19世紀初頭にヤング (Young) は、人間の眼において色を感じる視神経には、赤・緑・青の三色を感じる神経があると考えた。この説を三原色説と呼ぶ。なお、後にヘルムホルツ (Helmholtz) が生理学な知識でこの説を補強したことから、ヤング＝ヘルムホルツの三原色説と呼ばれることが多い。この説は、混色をよく説明できる。しかし一方で、色残像(残効)などの現象を説明することが難しい。ヘリング (Hering) は、黒-白、青-黄、緑-赤、といった釣りあいをなす過程が人間の色覚の基本であるという説を唱えた。これはヘリングの反対色説と呼ばれ、色残像 (残効) などの現象をよく説明できる。現在では、錐体レベルでは三原色説に基づく処理がなされ、後に反対色説に基づく処理に変換されるという段階説が広く支持されている。

2027年度 福山大学大学院 人間科学研究科 心理臨床学専攻
第一次入学試験問題および解答用紙 小論文

受験番号

※解答用紙は同じものを4枚配布しています。受験番号を4枚とも記入し、4枚とも提出してください。

※解答用紙4枚のうち2枚には、1枚につき1問を横書きで解答し、選択した問題番号を右の「問題番号」欄に必ず記入してください。

※解答用紙の残り2枚は、下書き用として自由に用いてください。

ただしその際には、用紙全面に大きく×をつけるなどして、下書きだとわかるようにしてください。

下記の3つの問題から2問を選び、それぞれ700～800字で答えてください。

1. 障害児・者福祉における「自己決定」の支援ということについて、あなたの考えを述べてください。
2. 心理職に携わる人自身の心の健康について考えることを述べてください。
3. 犯罪被害者への心理的支援において考慮すべきと思われる事柄を説明してください。

問題番号

[illegible]